

初心者のための学校法人会計基礎入門
(別冊 問題集)

岡部公認会計士事務所
公認会計士・税理士 岡部 雅人

<問題 1 >

次の取引について、資金収支の仕訳と事業活動収支の仕訳を記入しなさい。

なお、解答にあたり、以下の点に留意すること。

- 資金収支は、「支払資金」勘定、又は 1 行目に大科目を記入し、2 行目は小科目を記入すること。
- 事業活動収支は 1 行目に区分、2 行目に大科目、3 行目に小科目を入力すること（B/S 科目については小科目のみ）。
- 仕訳がない場合は「なし」と記入すること。

(問①) 授業料が学生から 20,000 円普通預金に入金された

	(借方)	(貸方)
資金収支		
事業活動収支		

(問②) 学生に在学証明書を発行し、現金 200 円受取った

	(借方)	(貸方)
資金収支		
事業活動収支		

(問③) 野球部の活動助成として寄付金 50,000 円を卒業生から受取った

	(借方)	(貸方)
資金収支		
事業活動収支		

(問④) 学校創立 50 周年記念講堂建設資金として保護者から寄付金 10,000 円を受取った

	(借方)	(貸方)
資金収支		
事業活動収支		

(問⑤) 同窓会から生徒用ノート 200 冊 (1 冊 100 円)、現物で寄付を受けた

	(借方)	(貸方)
資金収支		
事業活動収支		

(問⑥) 理事の報酬 30,000 円を支払った

	(借方)	(貸方)
資金収支		
事業活動収支		

(問⑦) 人事部職員の研修会参加のための出張旅費 1,000 を支払った

	(借方)	(貸方)
資金収支		
事業活動収支		

(問⑧) 普通預金の利息 10 円を受取った

	(借方)	(貸方)
資金収支		
事業活動収支		

(問⑨) 100,000 円 (最終返済期日は 5 年後) を借入れた

	(借方)	(貸方)
資金収支		
事業活動収支		

(問⑩) 職員用のパソコン 60,000 円を購入した

	(借方)	(貸方)
資金収支		
事業活動収支		

<問題2>

次の取引について、資金収支の仕訳と事業活動収支の仕訳を記入し、資金収支元帳及び総勘定元帳を作成しなさい。

なお、解答にあたり、以下の点に留意すること。

- 資金収支においては「支払資金」勘定と「記載科目（小科目）」を使用し、事業活動収支においては「現金」「普通預金」以外は「記載科目（小科目）」を使用すること。
- 資金収支元帳及び総勘定元帳の作成において、相手勘定科目が複数存在する場合には摘要欄に「諸口」と記入すること。
- 仕訳がない場合は「なし」と記入すること。
- 基本金についてはこの問題では考慮しない。

(問①) 学生から授業料 10,000 が普通預金に振り込まれた。

	(借方)		(貸方)	
資金収支				
事業活動収支				

(問②) 当年度実施の入学試験の検定料 20,000 が現金で入金となった。

	(借方)		(貸方)	
資金収支				
事業活動収支				

(問③) 図書購入のため同窓会から 10,000 の寄付が現金であった。

	(借方)		(貸方)	
資金収支				
事業活動収支				

(問④) 同窓会から図書 1,000 が寄贈された。

	(借方)		(貸方)	
資金収支				
事業活動収支				

(問⑤) 同窓会から「課外活動充実のため」という用途指定のある寄付 10,000 が現金であった。

	(借方)		(貸方)	
資金収支				
事業活動収支				

(問⑥) 用途指定のない寄付 50,000 の寄付が現金であった。

	(借方)		(貸方)	
資金収支				
事業活動収支				

(問⑦) 県より補助金 100,000 が普通預金口座に振り込まれた。なお、当該補助金は、全額が経常費等補助金に該当する。

	(借方)		(貸方)	
資金収支				
事業活動収支				

(問⑧) 3月31日付交付決定を受けた国の補助金100,000は未入金であるが、決算にあたり当該補助金に係る会計処理を行う。なお、当該補助金は全額が経常費等補助金に該当する。

	(借方)		(貸方)	
資金収支				
事業活動収支				

(問⑨) 給食代として1,000が普通預金口座に振り込まれた。

	(借方)		(貸方)	
資金収支				
事業活動収支				

(問⑩) A社運動会のため運動場を貸し、その使用料として5,000を現金で収納した。

	(借方)		(貸方)	
資金収支				
事業活動収支				

(問⑪) 次年度の入学決定者より入学金280、授業料120、施設設備資金80を普通預金に振り込まれた。

	(借方)		(貸方)	
資金収支				
事業活動収支				

(問⑫) 前期末授業料の未収入金 15,000 を現金にて徴収した。

	(借方)		(貸方)	
資金収支				
事業活動収支				

(問⑬) 本務教員に対して人件費 10,000(本俸 8,000、諸手当 2,000)を共済掛金預り金 500 及び源泉所得税預り金 500 を差し引き、普通預金口座から支払った。

	(借方)		(貸方)	
資金収支				
事業活動収支				

(問⑭) 授業で使用する物品 2,000 を購入し現金で支払った。なお、解答にあたっては、教育研究経費の場合は「教」を、管理経費の場合は「管」を、それぞれ括弧内に記入すること。

	(借方)		(貸方)	
資金収支				
事業活動収支				

(問⑮) 財務部職員の研修会参加の交通費として 1,000 を現金で支払った。なお、解答にあたっては、教育研究経費の場合は「教」を、管理経費の場合は「管」を、それぞれ括弧内に記入すること。

	(借方)		(貸方)	
資金収支				
事業活動収支				

(問⑯) 教室等と経理系の事務室があるA校舎の電気料金 10,000 を現金で支払った。使用面積は教室等が80%、事務室が20%である。なお、解答にあたっては、教育研究経費の場合は「教」を、管理経費の場合は「管」を、それぞれ括弧内に記入すること。

	(借方)		(貸方)	
資金収支				
事業活動収支				

(問⑰) 机を購入し、代金 3,000 を現金で支払った。当該机は少額重要資産に該当する。

	(借方)		(貸方)	
資金収支				
事業活動収支				

(問⑱) 教育研究に使用している建物の減価償却 1,000 を行った(直接法)。なお、解答にあたっては、教育研究経費の場合は「教」を、管理経費の場合は「管」を、それぞれ括弧内に記入すること。

	(借方)		(貸方)	
資金収支				
事業活動収支				

(問⑲) 期末要支給額に基づき退職給与引当金 100,000 を繰り入れた。

	(借方)		(貸方)	
資金収支				
事業活動収支				

資金収支元帳

支払資金 ※1

月	日	摘要	借方	貸方	残高
		前期繰越	300,000		

※1 便宜上「支払資金」としている。

※2 実務上は勘定科目を分けて記載することも考えられるが、便宜上「諸口」としている。

授業料収入

月	日	摘要	借方	貸方	残高

入学検定料収入

月	日	摘要	借方	貸方	残高

特別寄付金収入

月	日	摘要	借方	貸方	残高

一般寄付金収入

月	日	摘要	借方	貸方	残高

国庫補助金収入

月	日	摘要	借方	貸方	残高

地方公共団体補助金収入

月	日	摘要	借方	貸方	残高

補助活動収入

月	日	摘要	借方	貸方	残高

施設設備利用料収入

月	日	摘要	借方	貸方	残高

授業料前受金収入

月	日	摘要	借方	貸方	残高

入学金前受金収入

月	日	摘要	借方	貸方	残高

施設設備資金前受金収入

月	日	摘要	借方	貸方	残高

前期末未収入金収入

月	日	摘要	借方	貸方	残高

預り金受入収入

月	日	摘要	借方	貸方	残高

期末未収入金

月	日	摘要	借方	貸方	残高

教員人件費支出

月	日	摘要	借方	貸方	残高

(教) 消耗品費支出

月	日	摘要	借方	貸方	残高

(教) 光熱水費支出

月	日	摘要	借方	貸方	残高

(管) 光熱水費支出

月	日	摘要	借方	貸方	残高

(管) 旅費交通費支出

月	日	摘要	借方	貸方	残高

教育研究用機器備品支出

月	日	摘要	借方	貸方	残高

総勘定元帳

現金

月	日	摘要	借方	貸方	残高
		前期繰越	100,000		

普通預金

月	日	摘要	借方	貸方	残高
		前期繰越	200,000		

未収入金

月	日	摘要	借方	貸方	残高
		前期繰越	15,000		

教育研究用機器備品

月	日	摘要	借方	貸方	残高

建物

月	日	摘要	借方	貸方	残高
		前期繰越	100,000		

図書

月	日	摘要	借方	貸方	残高

退職給与引当金

月	日	摘要	借方	貸方	残高

前受金

月	日	摘要	借方	貸方	残高

預り金

月	日	摘要	借方	貸方	残高

授業料

月	日	摘要	借方	貸方	残高

入学検定料

月	日	摘要	借方	貸方	残高

特別寄付金

月	日	摘要	借方	貸方	残高

一般寄付金

月	日	摘要	借方	貸方	残高

現物寄付

月	日	摘要	借方	貸方	残高

国庫補助金

月	日	摘要	借方	貸方	残高

地方公共団体補助金

月	日	摘要	借方	貸方	残高

補助活動収入

月	日	摘要	借方	貸方	残高

施設設備利用料

月	日	摘要	借方	貸方	残高

教員人件費

月	日	摘要	借方	貸方	残高

退職給与引当金繰入額

月	日	摘要	借方	貸方	残高

(教) 消耗品費

月	日	摘要	借方	貸方	残高

(教) 光熱水費

月	日	摘要	借方	貸方	残高

(教) 減価償却額

月	日	摘要	借方	貸方	残高

(管) 旅費交通費

月	日	摘要	借方	貸方	残高

(管) 光熱水費

月	日	摘要	借方	貸方	残高

施設設備寄付金

月	日	摘要	借方	貸方	残高

<問題3>

資金収支元帳及び総勘定元帳から資金収支計算書・貸借対照表・事業活動収支計算書を作成しなさい。作成にあたっては、大科目を省略し、小科目を記入すること

資金収支計算書（※ 解答上不要な予算欄、差異欄、大科目は省略している。）

収入の部	
学生生徒等納付金収入	
授業料収入	
手数料収入	
入学検定料収入	
寄付金収入	
特別寄付金収入	
一般寄付金収入	
補助金収入	
国庫補助金収入	
地方公共団体補助金収入	
付随事業・収益事業収入	
補助活動収入	
雑収入	
施設設備利用料収入	
前受金収入	
授業料前受金収入	
入学金前受金収入	
施設設備資金前受金収入	
その他の収入	
前期末未収入金収入	
預り金受入収入	

資金収入調整勘定	
期末未収入金	
前年度繰越支払資金	300,000
収入の部合計	

支出の部	
人件費支出	
教員人件費支出	
教育研究経費支出	
消耗品費支出	
光熱水費支出	
管理経費支出	
光熱水費支出	
旅費交通費支出	
設備関係支出	
教育研究用機器備品支出	
翌年度繰越支払資金	
支出の部合計	

事業活動収支計算書（※ 解答上不要な予算欄、差異欄、大科目は省略している。）

教育活動収支	
事業活動収入の部	
学生生徒等納付金	
授業料	
手数料	
入学検定料	
寄付金	
特別寄付金	
一般寄付金	
経常費等補助金	
国庫補助金	
地方公共団体補助金	
付随事業収入	
補助活動収入	
雑収入	
施設設備利用料	
教育活動収入計	
事業活動支出の部	
人件費	
教員人件費	
退職給与引当金繰入額	
教育研究経費	
消耗品費	
光熱水費	
減価償却額	
管理経費	
旅費交通費	

光熱水費	
教育活動支出計	
教育活動収支差額	
教育活動外収支	
事業活動収入の部	
事業活動支出の部	
教育活動外収支差額	
経常収支差額	
特別収支	
事業活動収入の部	
その他の特別収入	
施設設備寄付金	
現物寄付	
特別収入計	
事業活動支出の部	
特別収支差額	
基本金組入前当年度収支差額	
基本金組入額合計	
当年度収支差額	
前年度繰越収支差額	415,000
基本金取崩額	
翌年度繰越収支差額	

(参考)

事業活動収入計	
事業活動支出計	

貸借対照表（※ 解答上不要な前年度末欄、増減欄、大科目、中科目は省略している。）

資産の部	
固定資産	
有形固定資産	
建物	
教育研究用機器備品	
図書	
流動資産	
現金預金	
未収入金	
資産の部合計	
負債の部	
固定負債	
退職給与引当金	
流動負債	
前受金	
預り金	
負債の部合計	
純資産の部	
繰越収支差額	
翌年度繰越収支差額	
純資産の部合計	
負債及び純資産の部合計	